

# 〔腎・透析内科〕

## 研修の特徴と内容

### 【特徴】

当科の研修の特徴は、包括する領域の幅広さにある。当科は腎臓内科領域と、透析療法を中心とした各種血液浄化療法の両者を担当しており、腎疾患患者の診断・治療の最初から終わりまでを体験できるのが特徴である。また、糖尿病・膠原病・血液疾患など他の内科領域と腎疾患の関わりなど、広く患者の全身を診る力が養成される。

### 【内容】

#### ① 一般目標（G I O）

検尿での腎疾患発見から、腎生検での診断確定、薬物治療、保存期腎不全の管理、透析療法導入、長期透析患者の合併症治療、体液管理の基本的知識と手技を習得する。

#### ② 行動目標（S B O）

1. 尿・血液検査から診断にいたるまでの計画を立て、実行できる。
2. 超音波検査・単純X線検査など非侵襲的検査が施行・読影できる。
3. 腎生検の適応を決定し、指導者の監督の下に自分で施行できる。
4. 代表的腎疾患の組織学的診断を行える。
5. 各種腎疾患の治療計画を立案し、実行できる。
6. 末期腎不全に対し、血液透析、腹膜透析、腎移植などの治療法の選択ができる。
7. 血漿交換、免疫吸着など血液浄化法の原理について理解し、施行できる。
8. 透析用内シャント作成術において助手を務められる。
9. 透析用内シャントの穿刺に習熟する。
10. 透析用バスキュラーアクセスのカテーテルを指導者の監督の下に自分で挿入できる。
11. 透析患者の合併症に関して理解し、診断できる。
12. 水・電解質・酸塩基平衡異常の病態を理解し、治療計画をたてて実行できる。

#### ③ 研修内容（方略）（L S）

##### L S 1 : On the job training (O J T)

1. 1年次は当科診療チームの一員として、指導医、上級医のもと日々の診療に携わる。また臨床実習学生を指導する。
2. 2年次は診療チームの上級医として診療に参加して、1年次研修医や臨床実習学生を指導するとともに、より高いレベルの知識・手技の習得に努める。
3. 入退院カンファレンスや、腎生検組織カンファレンスでは、他の研修医の担当症例に関しても討論に参加して知識を広げる。

##### L S 2 : 文献的学習

指導医・上級医の指導のもとに、担当患者に関する文献を読み、内容を発表する。また、当科抄読会に参加する。

#### ④ 教育に関する行事

1. 論文抄読会（毎週月曜午後4時30分～5時30分）
2. 内科カンファレンス（隔週月曜午後5時30分～6時30分）
3. 入退院カンファレンス（毎週火曜午後5時～）
4. 教授回診（毎週水曜午後）

5. 腎生検組織カンファレンス（毎週水曜午後、教授回診終了後）

⑤ 研修評価（EV）

1. 自己評価

EPOC入力にて研修目標の到達度を自己評価する。

2. 指導医による評価

EPOC入力の状況をチェックし、指導医から到達度の評価をEPOCへ入力する。

**指導医等**

主任教授：中西 健      准教授：倉賀野 隆裕      講師：長澤 康行      講師：蓮池 由起子  
助 教：名波 正義      助 教：木田 有利      助 教：八尋 真名      助 教：水崎 浩輔

**研修実施責任者**

講 師：長澤 康行

腎・透析内科 週間予定表

	午 前	午 後	症例検討会	備 考
月		13：30～ 腎生検 16：30～ 抄読会	17：30～ 内科合同カンファレンス (第2、4週)	
火		午後：腹膜透析外来実習 13:00～ 内シャント手術 16：30～ 腎・透析入退院 カンファレンス		
水		13：00～ 腎・透析 教授回診 15：30頃～ 医局連絡会及び腎生検組 織カンファレンス		
木		午後：腹膜透析外来実習 13：00～内シャント手術		
金				
土				